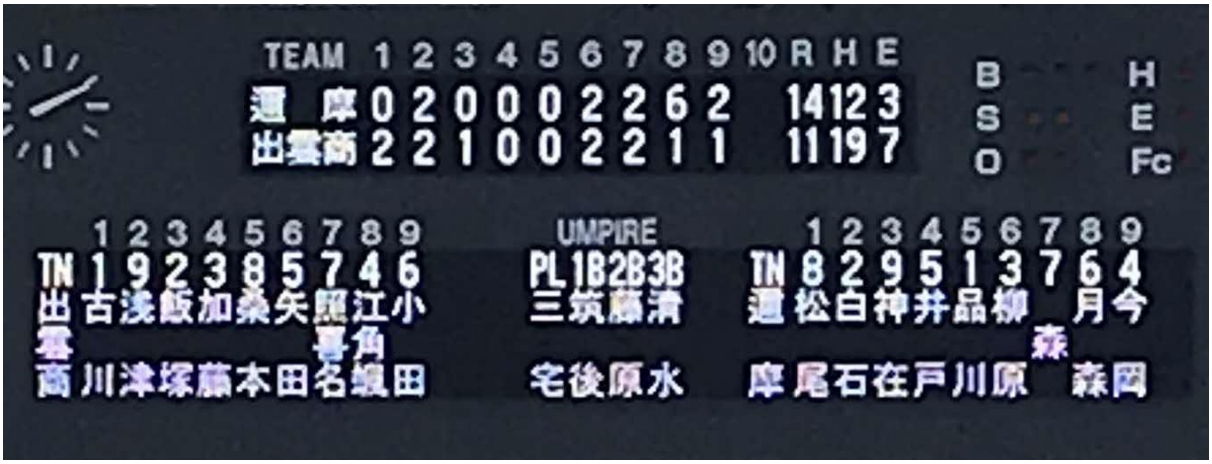
## 見せたぞ邇摩高の底力（春季野球大会）

春休みに入り３月末までは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として全県下の高校では部活動が中止となりましたが、４月からは部活動が再開され校長室にも野球グランドから元気なかけ声や金属バットの快音が響いており、うれしい気持ちになりました。入学式後は、新入生も加わり一段と活気付いてきました。そんな中、今年度初の県大会となる春季野球大会が開催されました。

本校の初戦は、出雲商業との戦いとなりました。初回相手に２点奪われると、２回同点に追いつき打撃力は負けていないと感じました。その後３点を奪われ、リードを許しましたが、４回、５回は、守備での好プレーもあり、０点に抑えました。６回、７回と得点するも相手にも点をとられ、３点差が縮まらない状況でした。

しかし、８回には、松尾さんの３ランホームランを含む猛攻で一挙６点を挙げ、この試合初のリードを奪いました。９回にも追加点を挙げ、１４対１１という打撃戦を制しました。試合時間は３時間を超えましたが、のべ５人で継投し、緊張感を途切らすことなく、粘り強く全力を尽くしてくれました。その熱意が伝わり、応援にも熱が入りました。

邇摩高校の底力をみせてもらいました。応援にきていただいた保護者の皆さま本当にありがとうございました。

次の試合は２３日開星高校との試合となります。全力を尽くし、いい試合をしてくれることを願っています。